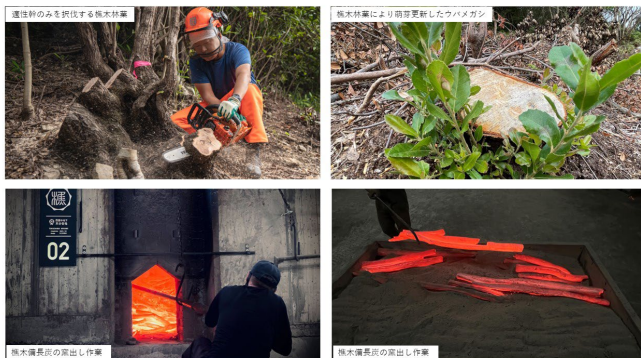


取組名称	伝統林業の再興と備長炭で持続可能な里山を創る			団体設立後の経過年数	3年
応募取組主体名称	株式会社四国の右下木の会社	活動地域	徳島県美波町	応募取組の活動年数	10年
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨

薪炭産業で栄えた徳島県南部に江戸時代から伝わる伝統の循環型広葉樹林業「樵木林業（こりきりんぎょう）」を現代版に再興し、燃料革命以降の放置により荒廃が進んだ里山照葉樹林の再生・保全を進めつつ、国内外で高価取引される備長炭産業を興すことで、“持続可能な里山”と“食べる里山産業”を同時実現する取り組みです。SDGs未来都市 徳島県美波町のSDGs計画の中核を担うなど、公民連携で里山と地域を未来に繋げる取り組みです。

実績の要旨

樵木林業の実施で、放置荒廃が進んでいた里山の回復・循環林化が進んでいます。IoT・クラウド技術を活用した炭窯で製造した備長炭は、品質の高さと“森林を回復させる炭”として有名店での導入も進み、新たな地域特産品になりました。R6年からは海外輸出と、樵木林業と備長炭製造のノウハウの他地域展開もスタートさせました。地域の皆様と、地域食材を地域の里山燃料で味わう“地炎地食”イベントも開催を重ねています。

取組評価の要旨	環境への貢献	放置荒廃が進んだ里山林を樵木林業により再生。備長炭や薪の製造販売により脱炭素社会化にも貢献
	社会・経済への貢献	「樵木備長炭」の製造販売を通じて地域経済に寄与、移住者を中心に地域雇用を創出
	地域資源の活用	地域伝統の林業技法で育成した里山森林資源を活用した特産品の製造・販売
	普及・汎用性	伝統技術・職人仕事を可視化・体系化することで再現性を高め全国に展開
	革新・ユニーク性	炭窯の規格統一とIoTとクラウドを活用した製炭アシスト機能により製炭ノウハウを共有知に
	継続性	樵木林業により森林資源の永続利用を図りつつ、国内外で高価取引される備長炭製造販売により経済自立性を確立

展望の要旨

実践で培った「循環型広葉樹林業技術」「製炭技術」「炭窯建設技術」ノウハウを全国に拡げることで、全国の里山と備長炭を持続可能なものにし、地域振興と森林回復を同時に実現します。